

作成者：木挽

平成21年6月20日（土）今回で3回目となりました父親教室が開催されました。新しく参加された方もおられ参加者多数もかなり雰囲気にも慣れてきたように思えました。



まず最初に恒例となりました、よいこと探しから始まりました。個人的には普段あまり子供と接する時間もなく3回目ということもあり段々ネタもなくなりかけ、本当に最近あったよいことを発表しました。この会に参加するようになり、この発表があるので今まで以上に子供に対する見方、接し方が変わってきたように思えます。ほかの方々も、そつなくお答えになられている方が多く事前に準備されている方もおられました。



次に、特別企画、奈良県立奈良東養護学校の田中先生を招いての「座談会」が行われました。田中先生からは進路及び就労の現状等、色々な情報提供を受けました。

まず、知的障害教育部門での高等部には2種類あり、「高等部」「高等養護部」に分かれることは全く知りませんでした。また、「生活介護事業」「就学継続A型 B型」「就労移行」の事業についても初めて耳にすることができました。

障害者の就職に関しての不安はありましたが現実をお伺いすることにより障害者の働く場所の現況や企業の状況を詳しく聞いてかなり深刻な問題だと改めて認識しました。

いづれにせよ、奈良市ではありますが学校の先生が一つの就職を決めるのにこれだけの努力をされていることを初めて知り頭が下がる思いでした。



「父親教室」は今年度1回目合計3回目ではありますが、いろいろな意見交換や情報提供をいただき今子供に対して何をすべきなのか、何時どのような決断をしなければならないのかを改めて考えさせられることができました。

毎日仕事や子供の用事に追われ慌ただしく動いていますが、周りを見ずにながむしやりに過ごしていることが多く定期的にこのような会に参加させていただいて今行っていることが正しいのか、他の方法があるのか、もっと良いやり方があるのかのを考える良い機会になっていると自分は考えています。